

熱き思いを胸に、運動に確信を持ち拡大を!



第12回職場活動活性化・組織拡大交流機関会議開催



国労西日本

国労西日本本部
NO.150

発行責任者 田中 守
編集責任者 羽柴 二郎

安全を守る 職場風土へ 変える先頭に

国労西日本本部の総団結と

4,000名組織の拡大、

「変わらないなら変えよう

国労の手で」

5月24日、西日本本部は「第12回職場活動活性化・組織拡大機関会議」を開催しました。



交流機関会議は、重村西日本執行副委員長の司会で、主催者を代表して田中執行委員長の挨拶から始まりました。また来賓として、高橋本部委員長から、貨物会社との和解及び国鉄闘争等の状況とこれからの取り組みなどについて連帯の挨拶をうけました。その後、第1部として「運輸の安全をめざして」信楽高原鉄道事故と福知山線事故から学ぶ」と題し、弁護士佐藤健宗氏の講演が行われました。講演は、信楽高原鉄道事故の背景と教訓について、福知山線事故における背景と



問題点、安全文化の確立にむけた提言等がパワーポイントを使用しわかりやすく

行われました。第2部では、西日本本部の青木組織部長から、国労運動の成果と組織拡大の必要性について新規採用者の組合加入問題について、貨物会社における一括和解」について要員確保の取り組みについて、大会以降の組織拡大の動向について、昨年度分散会の報告と本部組織拡大交流会での意見等も含め提起されました。その後、全体会議が行われ組織拡大の成果分會と加入者からの報告を受け討議に入りました。

参加者の発言



広島地方本部佐々木書記長 「地方本部として組織拡大強化機関会議を開催。会社主催のレクレーションにも意識を持って参加。中途半端はやめ、必ず職場を変えたいと思っている。要求で団結しそのためにも調査活動をやりきる。」



京都運輸分会 上野書記長 「京都駅において契約社員が2名加入。青年部員の固



米子支部 藤江組織部長 「職場に青年労働者が少ないなか、顔を売って行く事と、いろんな



大阪環状片町運輸分会 秋田書記長 「駅の会議室を借りて組合の説明会を行う



大阪貨物分会 工藤書記長 「宣伝行動の継続実施。日々の声掛けや仕事などの不満、



不安点などの相談に積極的に取り組んでいる。」
米原列車区 橋元青年部長 「昨年国労に加入した。福知山線事故でなくなった高見運輸士と同期であり他人事とは思えなかった。国労のこれまでの活動等を見て加入を決意した。西労組は組合員を見ていない。国労に興味を持っていてる青年労働者がたくさんいる。これから対話しながらを持って国労運動に誇りを持って活動していく。」



岡山地方本部秋田組織部長 「十一月と二月に拡大統一週間を取り組んできた。これからも趣味やレクを通じて取り組みを強化する。」

がん予防・検診から治療まで、とことん支援!

ご契約は満80歳まで

健康支援金をプラス!
通院も入院も同額保障!

がんの保障 病気・ケガの保障

新健康応援団 MAX

アベニール 株式会社

〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822

Affac

資料請求したいお客様への個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。
◎詳しくは、パンフレットや「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。

**仕事の悩みや相談事、
加入申し込みはコチラまで!**

- 国鉄労働組合西日本本部 west@kokuro.jp
06-6358-1190 06-6353-7849
- 国鉄労働組合北陸地方本部 nru-hk@m2.space1an.ne.jp
076-231-1506 076-231-1114
- 国鉄労働組合近畿地方本部 nru.kinki-2004@cello.ocn.ne.jp
06-6354-0700 06-6358-1465
- 国鉄労働組合岡山地方本部 kokuro-okayama@nyc.odn.ne.jp
086-233-0511 086-222-8397
- 国鉄労働組合米子地方本部 kokuroyonago@m9.dion.ne.jp
0859-22-2937 0859-22-2937
- 国鉄労働組合広島地方本部 kokuro98@urban.ne.jp
082-264-1771 082-264-1772
- 国鉄労働組合博多総合車両所分会
092-952-2286

近畿地本

大北青年部長

「百名目標に取り組んでいる。個々の繋がりがただの優しいだけではない。和ませた。関西貨物協で取り組んだ手紙行動で国労は変わってきていると言われている。あきらめずに働きかけたら必ず成果を上げられる。」



広島車両所 三谷分会長

「鉄産労の班長や貨物労の組合員と議論し、共同で残業を拒否。長時間残業を緩



まとめ

靛岡西日本本部書記長

「皆さんの発言を聞いていて分割民営化直後を思い出した。当時は、毎月組織拡大に特効薬はない。組織拡大に特効薬はない。繋がりを持つて積極的に訴



**中国四川省の大地震とミャンマーのサイクロン被害
に対する救援募金46,932円を日本赤十字社に!**

国労西日本本部は、5月24日に開催された「第12回職場活動活性化・組織拡大交流機関会議」において、5月2日に発生したミャンマー・サイクロン災害と、12日に発生した中国四川省・大地震で被災された方々に対する義援金を緊急ではありますが集め、総額46,932円の義援金を日本赤十字社に送付しました。ご協力ありがとうございました。また、被災地の一刻も早い復興を願っています。



えよう。知恵と力を出して運動していくことが大事。職場が変わるのを待つのではない。国労は職場で尊敬される存在。自信を持って頑張っていきたい。」

最後は、強田西日本本部青年部長の熱い思いのこもった「団結カンパニー」を三唱して終了しました。

**2008 夏季全国統一物資販売に
ご協力を!**

組合員及び家族の皆様には、平素から各種行動に積極的にご参加いただき、また各種活動いただきまして厚くお礼申し上げます。

さて、「JR採用差別事件」も二年目の節目を迎え、この間国土交通省前座り込み行動や院内集会、野党全会派への要請行動、鉄道運輸機構や国土交通省鉄道局に対する申し入れ行動などを、闘争団・家族をはじめ全組合員、家族会、共闘支援団体等で総団結して取り組んで参りました。

院内集会においては、民主党の鳩山幹事長から「闘争団の四七名の方がすでに亡くなっている現実はまだ待たないにあり。皆さんの思いをしつかり受け止め、政治的な解決をなんとかして果たしたい。私たちがその出番として受け止め、解決を皆さんと一緒に喜んでもらえるよう闘わせてもらおう」との激励と連帯の挨拶をいただいています。また、地方議会において「政治の責任による解決を求める意見書」が、全国756自治体・1132議会で決議（三月現在）されています。今、世論をはじめとし運動が大きく前進してきています。

私たちは、これまでの闘いの成果に確信を持ち、引き続き政治的・全体的解決を今こそ実現するため全力を上げなければなりません。国労西日本本部も、皆さんの先頭に立ち奮闘する決意です。

「株式会社アルバ」は、解雇された国労組合員で結成された国労闘争団の生活資金、運動資金を支える目的で、1991年5月に国労生活事業センターとして発足、1992年10月に法人化「株式会社アルバ」を設立しました。

5月から夏季全国統一物資販売が始まっています。ぜひとも、組合員の皆さん、ご家族の皆さんをはじめとして他労組の皆さんにも購入していただきますよう運動を強化していただきたいと思います。

今後この闘いが全体解決する日まで、皆様方のご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

国鉄労働組合西日本本部

「株式会社アルバ」は、解雇された国労組合員で結成された国労闘争団の生活資金、運動資金を支える目的で、1991年5月に国労生活事業センターとして発足、1992年10月に法人化「株式会社アルバ」を設立しました。



(株)アルバ受付センター
TEL.0088-22-5432
URL http://www.nru-alba.jp